

EB(150323)

2025 年 2 月作成

メタボリード標準血清 HDL・LDL-C 測定用

【形状・構造等(キットの構成)】

標準血清 2mL 用×4 本

【使用目的】

HDL-C コレステロール、LDL-C コレステロール、総コレステロール
及び中性脂肪測定用キャリブレーター

【用法・用量 (操作方法)】

1. 調製方法

(1) 使用する標準血清を常温に戻して下さい。

(2) 標準血清 1 本を、常温の精製水 2.0mL で正確に溶解して下さい。
溶解時は泡立てないよう静かに転倒混和して下さい。溶解後、室温で
1 時間以上 静置して完全に溶解し、軽く転倒混和してから使用して下さい。
調製後は速やかに冷暗所保存（2～8℃）して下さい。

2. 保存方法

調製後の標準血清は冷暗所保存（2～8℃）し、1 週間以内に使用して下さい。

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 本品は、ヒトプール血清を材料としております。HBs 抗原、HIV-1 および HCV 抗体は陰性である事が確認されておりますが、その他の病原体については完全には確認されていません。使用に際しては患者検体と同様に、手袋などを着用し、十分注意して取扱して下さい。
2. 本品を扱う場合、口によるピペッティングを行わないで下さい。
3. 本品をこぼした場合は、80%アルコールスプレー等の消毒薬を使用し十分に拭き取って下さい。なお、ふき取る際にはゴム手袋等により手を保護して下さい。
4. 本品を取扱う場所では飲食又は喫煙をしないで下さい。
5. 本品中の標準血清を開封する場合は、アルミキャップを矢印の方向に溝の片側が切れるまでゆっくり引き、切れた反対側に回転させて取り除いて下さい。アルミ部分が残った場合は、素手で取らずペンチ等で取り除いて下さい。

EB(150323)

メタボリード標準血清 HDL・LDL-C 測定用

6. 使用期限切れ又は溶解後、1 週間を経過した本品は使用しないで下さい。
7. 製造番号の異なる標準血清を検査の途中で混合又は交換して使用しないで下さい。
8. 検体、標準血清及びサンプルカップ等の器具は、次のいずれかの方法で処理するか、各施設の感染性医療廃棄物の処理マニュアルに従って下さい。
(1) オートクレーブにより 121℃で 20 分以上加圧滅菌処理して下さい。ただし、次亜塩素酸ナトリウム溶液を含む廃棄物は、オートクレーブにかけないで下さい。
(2) 次亜塩素酸ナトリウム溶液（有効塩素濃度 1000ppm 以上）に 1 時間以上浸して下さい。
9. 本品の容器、付属品は他の目的に転用しないで下さい。
10. 内容物を飛散させずに溶解し使用して下さい。
11. 一度溶解したものは、凍結保存しないで下さい。不溶化の原因となります。
12. 調製後の標準血清は、常温に戻して使用して下さい。
13. 常温の精製水で溶解して下さい。
14. 溶解後 1 時間以上 静置し完全に溶解して使用して下さい。
15. 使用時は、泡立てないように転倒混和して使用して下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

1. 貯蔵方法 : 冷暗所（2～8℃）
2. 有効期間 : 12 ヶ月（調製後 1 週間）使用期限は外箱・各容器ラベルに表示されています。

【包装単位】

管理コード	品 名	包 装
STS2170	メタボリード標準血清 HDL・LDL-C 測定用	2mL 用×4 本

EB(150323)

2025 年 2 月作成

メタボリード標準血清 HDL・LDL-C 測定用

製造番号:999AEB

使用期限:2026年2月

【表示値】

項目		標準物質	濃度	
			mg/dL	SI単位mmol/L
HDL-C	メタボリード HDL-C	ReCCS JCCRM224	67.8	1.75
LDL-C	メタボリード LDL-C	ReCCS JCCRM224	108	2.79
総コレステロール	デタミナーL TC II	NIST SRM911	216	5.59
中性脂肪	デタミナーL TG II	ReCCS JCCRM224	102	1.15

ReCCS：検査医学標準物質機構

中性脂肪は遊離グリセロールを消去した方法です。

【問い合わせ先】

株式会社カインス 学術部

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-18

TEL：03-3816-4480

FAX：03-3816-6544

製造販売元

キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社

〒104-6004 東京都中央区晴海 1-8-10

販売元

 株式会社カインス

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-18